

「産業振興に関する連携協定」の概要について

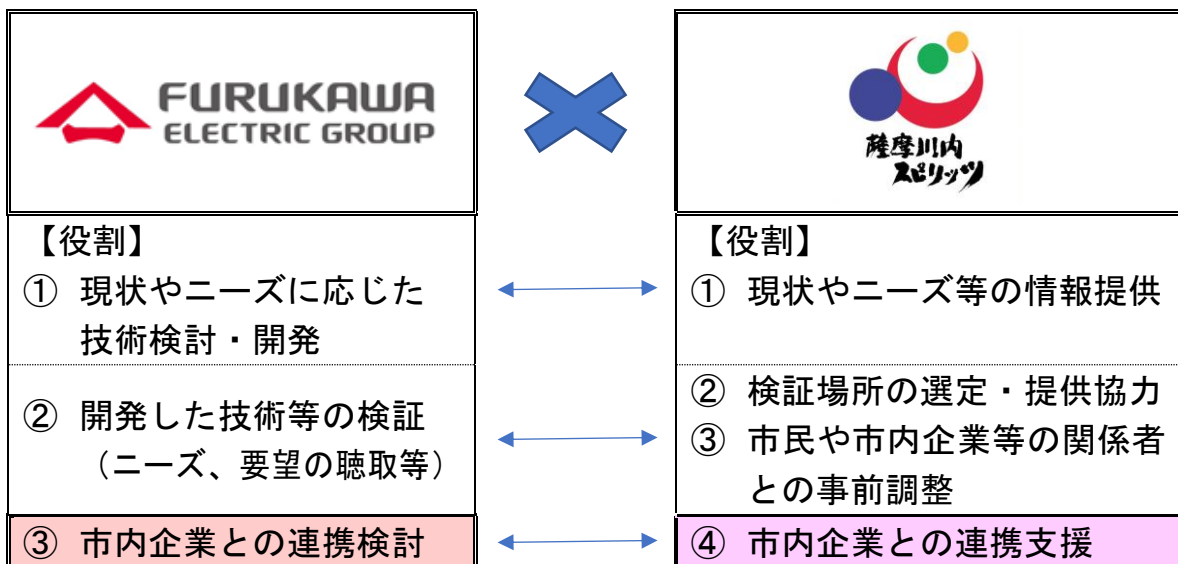
令和2年1月28日  
薩摩川内市  
古河電気工業株式会社

1. 連携協定の目的

古河電気工業(株)と薩摩川内市は、同社が有する技術やネットワークの活用、市内企業との連携を図り、本市の抱える課題の解決や産業振興、地域活性化につなげるため、協定を締結するものである。

2. 具体的な取組内容・イメージ

市内の指定避難所(3ヶ所)に同社が開発中の「避難所マット」を配備し、避難所における機能性、快適性などの検証を行うとともに、検証結果をもとに、同社と市内企業の技術連携及び地域資源の活用等を検討しながら商品化を推進し、地域産業の育成、技術力向上につながる取組を行う。



市内企業との連携

- 本市の特性や資源を活かした課題解決や産業振興、地域活性化
- 地域産業の育成や市内企業の技術力向上

3. 背景・経緯

- 近年の異常気象による災害が各地で発生し、多くの方が犠牲になっている現状を踏まえ、古河電気工業(株)では、防災・減災のまちづくりに意欲的に取り組み、地域課題の解決に向けた方策を検討してきた。
- 本市では、市内企業が連携し開発した災害等による停電時に対応可能な「独立電源型LED街路灯」を市内の災害詰所や避難所に設置し、災害による避難時の安全安心をはじめ、総合的に様々な災害対策を実施してきた。
- 今回、防災・減災の観点及び産業振興の観点から同社の申出により、両者の考えが合致し、協定締結に至った。